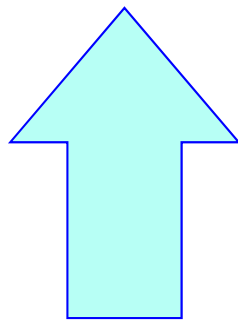


地域資源戦略協議会(ものづくり分野) におけるシステム提案

新たなものづくりシステム

- 地域における価値創生・獲得の中心であるものづくり中小企業のイノベーション力、高効率・高付加価値生産性を高める
- IoTやビッグデータ等の高度な情報技術を活用し、地域内外を含めた企業同士の連携やユーザーと企業の連携強化によって、ユーザーが求める製品等をタイムリーに開発し、高いQCD※を提供する



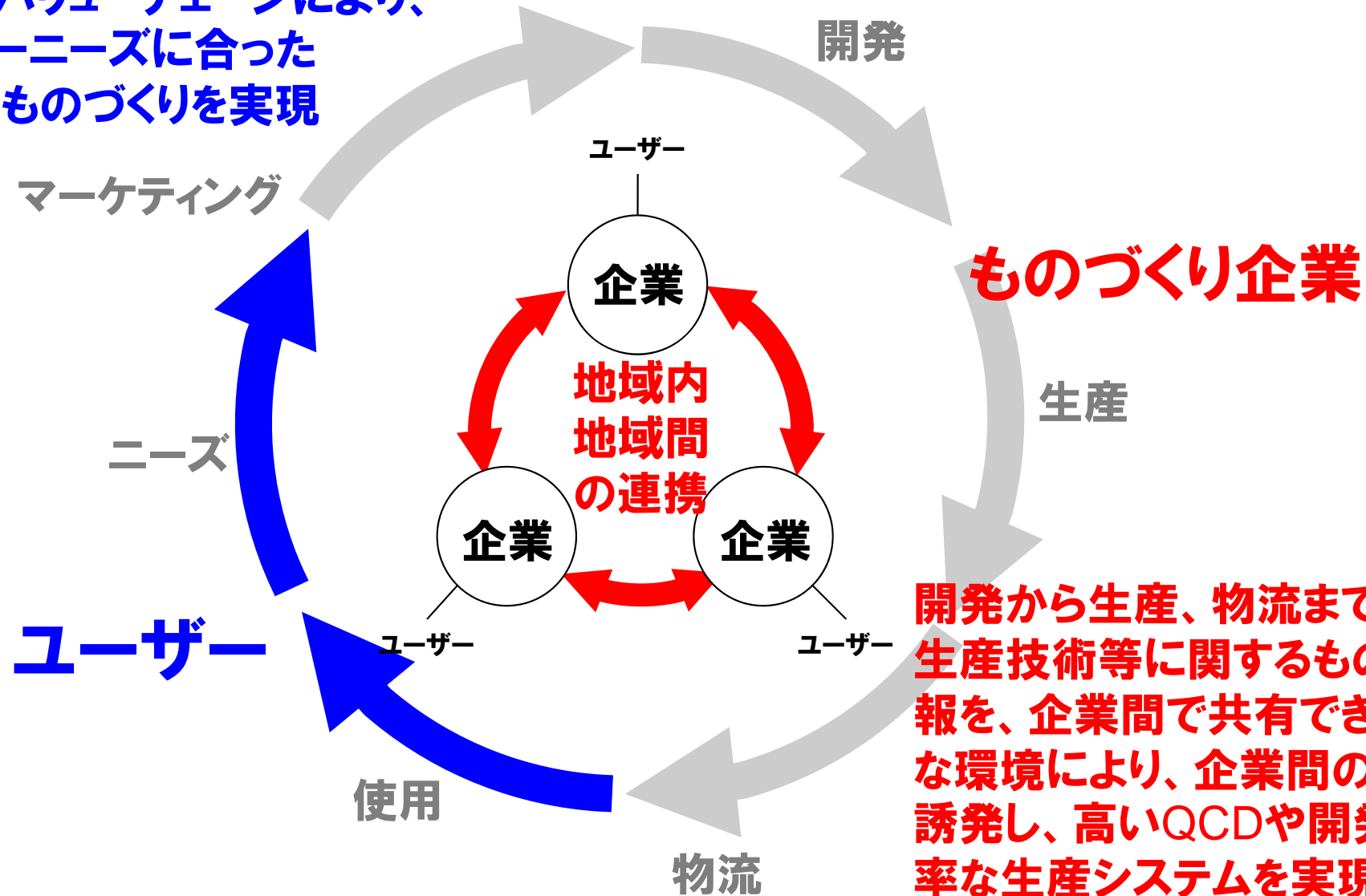
スマートものづくり



※QCD:品質(Quality)、コスト(Cost)、流通(Delivery)

新たなものづくりシステムの取組み

ユーザーを組み入れた
新しいバリューチェーンにより、
ユーザーニーズに合った
的確なものづくりを実現



新たなものづくりシステムに必要な開発

従来のものづくりシステムに加え、新たなシステムを完成させるために必要となるコア技術

- 企業間でものづくりの管理・技術情報の共有と利用を可能とするプロトコルの作成とそれに基づく情報交換・利用システム技術の開発
- 企業内の特徴的保有技術であるが暗黙知化されている技能を、特に知識系技能を中心に抽出する方法とそれらを蓄積・利用する技術の開発
- 潜在化・暗黙知化するユーザーニーズの抽出・獲得法の開発と、それを組み入れてニーズを反映した製品開発を支援できる情報システム技術の開発